

お昼寝コットの導入についてのお願い

平素より当園の保育にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。
この度、午睡時に使用する『お昼寝コット』の導入をすることとなりお知らせさせていただきます。衛生面でも優れている点の多いコットの使用については、以前より検討しておりましたが、この新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されている今、予防を徹底する上でも必要と考え、急ではございますが、このタイミングでの導入を判断いたしました。
集団衛生の観点から考えまして、ご理解いただけますと幸いです。
また、衛生面以外にもたくさんの良い点がありますので、以下をご参照ください。

お昼寝コットのメリット

- ◆ メッシュ地なので汗などで湿ってもすぐに乾く。おねしょなどで汚れても水洗いができ、衛生的。
- ◆ コットは敷いたり片付けたりする時に埃がたちにくく、また、支柱により床から10cmほどの高さがあるため、床に直接触れなくなり、埃を吸い上げず、アレルギーの原因となるダニの繁殖を防ぐ。
(ハウスダストやアレルギー症状の軽減)
- ◆ 他児との密着を防ぎ、頭ジラミやノロウイルスに代表される感染性胃腸炎など、集団保育における様々な感染症の拡大を防止できる。
- ◆ 床面とコットとの間に空気の層が入り、直接床に布団を敷くの 비해、床との間に空間が生まれるので、夏は涼しく冬は暖かい。
- ◆ 身体を包み込むように窪み、お母さんのお腹の中にいるような安心感と心地よさを感じられる。また、自分のスペースも確保でき睡眠が安定する。

コット用シーツ（ゴム付き）・タオルケットを使用します。

布団よりも格段にコンパクトになるので、保護者の皆さまには、少しでも日々の荷物も軽減していただけたらと考えております。

コット用シーツは既製品でも手作りでもどちらでも構いません。
裏面に乳児・幼児それぞれのコットのサイズと手作りシーツの作り方を載せておきますので、ご参考いただき、ご準備いただけますよう、よろしくお願い致します。
なお、急なことですので、シーツの準備ができるまでは、タオルケットを代用していただいて構いません。ただ、ゴムがないと寝ている間によれてしまうことが想定されますので、安全に留意する上で、ゴム付きシーツをご準備いただけたらと思います。（※次年度からは完全移行できるようにお願いしたいと思っています。）

お昼寝コット



6月8日(月)より、使用いたします。

コット用シーツ+タオルケット または タオルケット 2枚を、袋(エコバックなどご自宅にあるもの)に入れてお持ちください。すべてに記名をしていただくようお願いいたします。

コットの導入を通して、【清潔・安心・快適な質の良い睡眠環境】を子どもたちに提供できればと考えております。ご不明な点などございましたら、お気軽に職員までお尋ねください。よろしくお願い致します。

コットのサイズ

乳児（0・1・2歳児クラス）⇒ 長さ 102 c m × 幅 56 c m × 高さ 13 c m

幼児（3・4・5歳児クラス）⇒ 長さ 132 c m × 幅 56 c m × 高さ 13 c m

【コットシーツの作り方】

～用意するもの～

○ タオル(布) 0・1・2歳児・・・横 55 c m × 100 c m

3・4・5歳児・・・横 55 c m × 130 c m

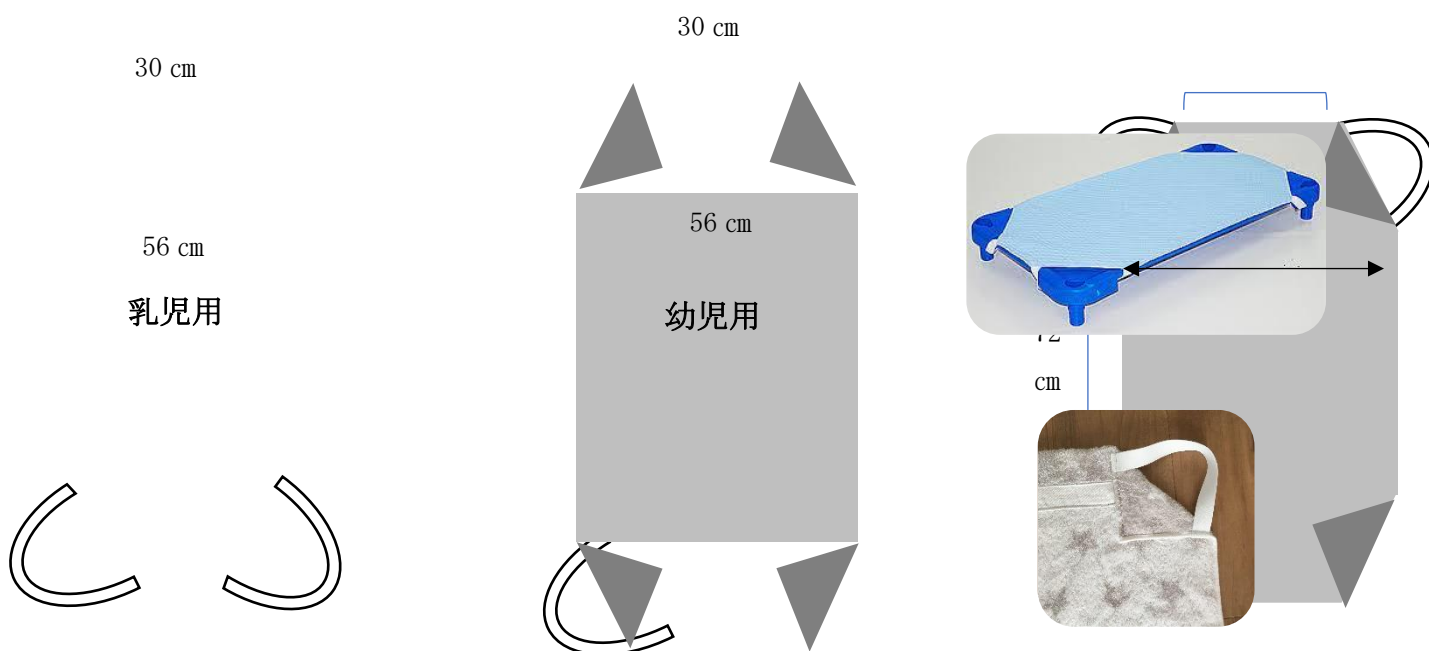
※タオル(布)はできあがりの大きさです。場合によっては、縫い代をとってから裁断してください。

○ 平ゴム (幅およそ 2～2.5 c m) 35 c m (+縫い代) × 4 本

《作り方》

中心の幅が 30 c m になるようにタオル(布)の四隅を折り、平ゴムを縫い付けます。

大きさが違うと、コットを重ねる際に引っかかってしまうので、30 c m 以内にしていただくようお願いします。



上記は参考の作り方ですので、その他の作り方でも構いません。インターネットでもいろいろな作り方が載っていますので、一度ご覧いただければと思います。

また、既製品につきましては、店舗（西松屋など）やインターネットでの販売があります。

ご購入の際は、サイズにご注意いただきますようお願いいたします。